

2020 年度 第 3 回 10 月名大本番レベル模試 地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○/△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

問題 I (50点)

問1 (a～c) 6点 (各2点×3)

- a : イルクーツク b : アンコール遺跡/アンコール=ワット/アンコール=トム (=の有無は不問)
c : ナイアガラの滝/ナイアガラ滝/ナイアガラ瀑布/ナイアガラ

問1 (工業製品名) 4点 自動車

問2 8点 (各2点×4) A : エ B : イ C : ア D : ウ

問3 (A, D) 4点 (各2点×2) A : バイカル湖 D : エリー湖

問3 (記述) 8点

バイカル湖は、地殻変動で湖底が沈降している断層湖(地溝湖・構造湖)で、水深は世界で最も深い。エリー湖は、氷河の重みによってえぐられた凹地にできた氷河湖であるが、氷床の末端に位置しているのでそれほど深くない。

【加点ポイント】

- ① (Aの水深) 深い/世界で最も深い →2点
- ② (Aの成因) 断層湖/地溝湖/構造湖/地殻変動で湖底が沈降
/断層運動による凹地に水が溜まった →2点
- ③ (Dの水深) 浅い/Aほど深くない/Aより浅い →2点
- ④ (Dの成因) 氷河湖/氷河の重みによってえぐられた凹地に水が溜まった
/氷床の末端に水が溜まった →2点

問4 10点

トンレサップ湖の水位変動が大きいのは、流域が雨季と乾季のあるサバナ気候だからである。トンレサップ湖はメコン川の流域に位置して本流とつながっており、雨季にはメコン川の洪水が流入し水位が上昇し、乾季にメコン川に流出し水位が低下する。この遊水機能のため、メコンデルタの雨季の洪水被害と乾季の水不足が軽減されている。

【加点ポイント】

- ① (水位変動の理由) サバナ気候 →2点
- ② (①の特徴) 雨季と乾季がある／降水量の季節変動が激しい →2点
- ③ (水位変動の理由) 湖がメコン川とつながっている →2点
→(※「大きな川」など →1点)
- ④ (湖の役割) 遊水機能／河川の溢水が流入する／渇水時に湖水が河川に流出する →2点
- ⑤ (④の結果) 洪水被害を軽減／水不足を軽減 →2点

問5 10点

旧ソ連の工業地域に位置付けられたバイカル湖では、かつてはタイガを利用した製紙工場からの排水によって汚染が進行した。近年は観光開発による人為的な汚水流入で水質が悪化している。世界有数の油田地帯であるマラカイボ湖では、採掘の過程や老朽化したパイプラインからの原油の流出によって水質が悪化している。

【加点ポイント】

- ① (A湖の理由) 工場排水による汚染 →2点
- ② (①の背景) 製紙工場／製紙工業 →2点
- ③ (②の背景) タイガ／針葉樹林 →2点
- ④ (B湖の理由) 原油の流出 →2点
- ⑤ (④の背景) 湖底や湖周辺に原油が分布／世界有数の油田地帯である
／オリノコタールの分布 →2点

問題Ⅱ (50点)

問1(1) 8点 (各2点×4)

A:中国 B:ドイツ C:日本 D:韓国

問1(2) 9点

フランス南部の都市トゥールーズには、ヨーロッパ4か国の協力で設立した航空機会社の組立工場が立地している。その部品は、域内貿易の関税が撤廃されたEU諸国が国際分業で生産しており、ドイツでは、トゥールーズへ出荷する部品の製造が盛んである。

【加点ポイント】

- ① (フランスの特徴) 航空機の組立工場が立地/エアバス社の製造最終工程が立地 →2点
- ② (①の都市名) トゥールーズ →1点
- ③ (①の背景) 部品をEU諸国で生産/部品生産の国際分業が進展 →2点
- ④ (③の背景) 域内貿易の関税が撤廃/関税がかからない →2点
- ⑤ (B国・ドイツの特徴) 航空機の部品製造が盛ん/航空機の胴体や垂直尾翼を生産
/部品を製造してフランス(トゥールーズ)に輸出 →2点

問1(3) 6点 (各2点×3)

ア:シェンチェン/深圳 イ:経済特区 ウ:NAFTA

問2 9点

商品の性能・機能の更新を繰り返す開発の初期段階では、研究開発部門と熟練工が連携しやすい日本国内で生産台数が伸びた。やがて、製法と部品が標準化されて量産化が進むと、人件費の安い発展途上国に生産拠点が移り、国内での生産台数が激減した。

【加点ポイント】

- ① 初期は日本で生産する →1点
- ② (①の理由) 商品の性能・機能の更新を繰り返す/研究開発と熟練工が連携しやすい
/日本の高い技術力が必要 →2点
- ③ (生産激減の契機) 量産化が進む/製法の標準化が進む →2点
- ④ (③の後の生産拠点として) 発展途上国/東南アジア/中国/ASEANなど →2点
- ⑤ (④の理由) 人件費が安い/安い労働力/生産コストを下げる →2点

問3 9点

日本から欧米への自動車輸出が大幅な貿易黒字となり、貿易摩擦を引き起こした。そのため、日本の自動車メーカーは輸出台数を自主規制する一方、工場の進出先に雇用、税収、部品需要をもたらす現地生産を始め、その後の円高により生産は拡大した。

【加点ポイント】

- ① (背景) 貿易摩擦／日本の大幅な貿易黒字／日本の輸出超過 →3点
- ② (背景) 円高 →3点
- ③ (現地生産の利点) 現地に雇用を生む／現地の税収増加／現地の関連工業の発展
／為替差損の回避 →3点
(※「貿易摩擦の解消」のみ →1点)

問4 9点

東欧は、西欧より賃金水準が低い、社会主義の時代に高度な職業教育を受けた熟練労働者が多い。東欧諸国のEU加盟で西欧との間の貿易が自由化されると、西欧などの先進国の企業が、西欧市場向けの機械の組立工場を東欧に進出させた。

【加点ポイント】

- ① 西欧などから工場が東欧に進出(移転)した →2点
- ② (①の理由) 東欧諸国のEU加盟 →2点
- ③ (②の利点) 西欧と東欧との間の貿易が自由化／EU域内で関税がかからない →1点
- ④ (①の理由) 東欧には熟練労働者が多い／東欧は工業の基盤が整う →2点
- ⑤ (①の理由) 東欧は(西欧などに比べ)賃金水準が低い／人件費が安い →2点

問題Ⅲ (50点)

問1 5点

アジア、オセアニア、アフリカ、ヨーロッパを結ぶハブ空港であるドバイ国際空港があるから。

【加点ポイント】

- ① ドバイ国際空港がある →2点
- ② (①は) ハブ空港である／アジア、オセアニア、アフリカ、ヨーロッパを結ぶ
／アジアやヨーロッパなどの乗り継ぎ(貨物積み替え)空港となる →3点

問2 8点

航空機で輸送される貨物は付加価値の高い軽薄短小な貨物が多いが、船舶で輸送される貨物はかさばるものや重量の大きなもの、液体などが多い。

【加点ポイント】

- ① (航空機貨物は) 付加価値が高い／価格が高い／製品コスト中の輸送費の割合が小さい →2点
- ② (航空機貨物は) 軽薄短小／軽い／小さい／集積回路／医薬品／科学光学機器 →2点
- ③ (船舶貨物は) 重厚長大／かさばる／重い／大きい →2点
- ④ (船舶貨物は) 液体／石油／液化ガス／燃料／自動車／自動車部品／内燃機関 →2点

問3 5点

世界各国で格安航空会社(LCC)が設立され、航空運賃が安価になったから。

【加点ポイント】

- ① 格安航空会社(LCC)の設立／格安航空会社(LCC)の便数増加 →5点

問4 6点

新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者が多かった東アジア各国との渡航が制限されたから。

【加点ポイント】

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大／COVID-19の感染拡大／コロナ禍 →4点
- ② (①により) 海外との渡航が制限された／海外への往来を控える人が増えた →2点

問5(1) 4点

市場となる都市からの距離に応じて、輸送費や鮮度などの条件から土地利用が変化し、近郊では鮮度を求められる野菜や酪製品の集約的な生産、郊外では保存性の高い穀物の栽培や粗放的な牧畜へと移行する。

【加点ポイント】

- ① 「都市／都心／CBD／市場」からの「距離／輸送費」によって立地が異なる →2点
- ② 「都市近郊／都心近く／市場近く」では「集約的／収益性が高い作物／鮮度が求められる作物
／野菜生産／園芸農業／酪農」 →1点
- ③ 「郊外／都心から遠い／市場から遠い」では「粗放的／鮮度が問われない作物／穀草式農業
／保存性が高い作物／穀物栽培／牧畜」 →1点

問5(2) 6点

産業基盤となる鉄道または運河に沿って、物流の利便性を求める2が形成され、さらに2で働く人々の住宅地区である3がこれに伴うから。

【加点ポイント】

- ① 交通路線／鉄道／運河の影響を考慮した →3点
- ② ①の周辺に、2（卸売・軽工業地区）が形成される →2点
- ③ ②の周辺に、2で働く人が住む3（低級住宅地区）が形成される →1点

問5(3) 6点

アメリカ合衆国ではモータリゼーションが高度に進展しているため、都市圏が成長して住宅地が郊外に拡大するのに伴い、郊外的高速道路網の結節点が新しい中心地区となった。

【加点ポイント】

- ① 自家用車の普及／モータリゼーションの進行を考慮した →3点
- ② ①により住宅地が郊外に拡大／富裕層が郊外に流出／都市圏が拡大 →2点
- ③ ②により周縁部に副都心ができた／郊外にも中心地区ができた
／高速道路網の結節点に中心地区ができた →1点

問5(4) 10点

[指定語句] 老朽化 流出 2つ全て 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは1点減点)

中心業務地区（CBD）。都市インフラの老朽化が進むと、生活に不便が生じ、富裕層が郊外に流出し、高齢者が取り残され、家賃の下がった住宅に貧困層や移民が流入する。その結果、治安が悪化したり、失業者が増大したり、商店街が衰退したりするインナーシティ問題が生じる。

【加点ポイント】

- ① (凡例1の名称) 中心業務地区／CBD／C. B. D. →2点
- ② (都市問題の名称) インナーシティ問題 →2点
- ③ (②の内容) ・都市インフラの老朽化が進む／住宅の老朽化が進む／居住環境の悪化
・富裕層が郊外に流出する／都心人口の流出が起こる } 1つ2点
・高齢者が取り残される／貧困層が流入／移民が流入／スラム化する } 6点まで
・治安が悪化／失業者の増大／商店街が衰退／都市財政の悪化

問題IV (50点)

問1 10点 (各2点×5)

- ①: デカン高原 ②: 大インド砂漠/タール砂漠
- ③: ブラマプトラ川/ジヨムナ川/ヤルンツァンポ川
- ④: ブータン ⑤: カイバー峠/カイバル峠

問2 9点 (都市名:2点 記号:1点) ×3

- ①: ヴァラナシ/ベナレス, D
- ②: デリー, C (※「ニューデリー/オールドデリー」は△1点)
- ③: バンガロール, E

問3 9点

ジャーティは特定の職業を世襲する集団であり、結婚は集団内で行われる。集団間の儀礼的な上下関係が差別に結びついてきたが、集団内では雇用の斡旋や貧困者への援助等の相互扶助が行われる。

【加点ポイント】

- ① (ジャーティとは) 特定の職業集団 (「職業による集団」が読み取れれば可) →3点
- ② (①の特徴) 職業は世襲/結婚は集団内/職業選択ができない →2点
- ③ (①の問題点) 集団間で身分の上下がある/身分差別の解消が遅れている →2点
- ④ (①の長所) 相互扶助/雇用の斡旋/貧困者への援助/病人の援助/いさかいの調停 →2点

問4 10点

品種改良や栽培技術の改善を行い、高収量品種の穀物の生産が可能になった緑の革命で、食料自給を達成した。一方、灌漑施設の整備と化学肥料・農薬の多投入が必要であったため、豊富な資本を持つ農民と持たない農民の間の経済格差が拡大した。

【加点ポイント】

- ① (緑の革命の内容) 高収量 (多収量) の穀物生産を可能にした →3点
- ② (①の方法) 品種改良/高収量品種の導入/ミラクルライス (IR-8) の導入 →2点
- ③ (①の方法) 栽培技術の改善/灌漑施設の整備/化学肥料・農薬の多投入 →2点
- ④ (負の影響) 富農と貧農の格差が拡大/豊富な資本を持つ農民だけが導入できた →3点

問5 8点

[指定語句]

| | | |
|------------|------|----|
| マイクロファイナンス | 縫製工業 | 女性 |
|------------|------|----|

 3つ全て 下線付きで使用

(※下線の付け忘れは1点減点)

無担保の小口融資で貧困層の開業と自立を支援するマイクロファイナンスにより、縫製工業が急成長して雇用が拡大した。その結果、ムスリムの多い国であることから遅れていた女性の社会進出が進んだ。

【加点ポイント】

- ① 縫製工業が発展した →2点
- ② (①の背景) マイクロファイナンス →1点
- ③ (②の内容) 無担保/貧困層に融資 →1点
- ④ (②の内容) 小口の融資 →1点
- ⑤ (①の影響) 女性の社会進出が進んだ/女性の雇用が拡大した/工場で働く女性が増えた
/女性の地位が向上した →2点
- ⑥ (以前の社会状況として) ムスリムが多い(イスラム教の)ため女性の労働力率が低い →1点

問6 4点(各2点×2) 小麦:エ 米:ウ